



JWA JAPAN PROTOUR 2021-2022 FREESTYLE 第1戦
FREESTYLE FESTA ZUSHI 2021

日程：4月17日(土)、18日(日)

場所：神奈川県逗子市 逗子海岸

レポート：フリースタイル委員長 小林 悠馬

写真：杉 佳子

映像：里村 哲也

FREESTYLE FESTA ZUSHI 2021

ウインドサーファーで賑わう逗子海岸。数多くのウインドサーフィンスクールが並び、多くのウインドサーファーを誕生させている地です。湾の大きさ、波の小ささ、風が穏やかであることが、ウインドサーフィンのスクールには最適だからです。だからこそ、風を求めて大会を行うには、少々難しさがある場所でもありました。しかし、このフリースタイルフェスタ逗子は毎年風を味方につけ、今年も素晴らしい風に恵まれ、選手の迫力のあるパフォーマンスが披露されました。そして、地元のキッズやギャラリーで賑わい、ウインドサーフィンの楽しさをアピールする絶好の場となりました。



長谷川元会長追悼セレモニー

特定非営利活動法人日本ウインドサーフィン協会 元会長 長谷川浩は令和2年4月22日永眠いたしました。故人はウインドサーフィン界の発展を誰よりも考え、ご尽力いただきました。そして、1年が経ち、この大会で元会長の追悼セレモニーが執り行われました。長谷川元会長のウインドサーフィン界への多大なる功績を称えると共に、ご冥福をお祈りいたします。そして、新たに特定非営利活動法人日本ウインドサーフィン協会 会長に就任いたしました川添会長のご挨拶によってフリースタイルフェスタ逗子2021はスタートいたしました。



ビーチクリーン活動

JWA の大会では、その場所を利用させていただくため、来る前よりも綺麗にすることを目標に、ビーチクリーン活動を行なっております。選手、スタッフ一同会場付近のビーチクリーンを行いました。



地元キッズ達の目標となったノンプレクラス

フリースタイルの基本とも言える、ノンプレニングフリースタイルクラス。弱い風の中で、セイルコントロールやボードコントロールをして演技するノンプレニングフリースタイルクラスには全部で4クラスあります。プロやエキスパートが参加するノンプレスペシャル、フリースタイル中級者～上級者が参加するノンプレオープンクラス、そして大会参加が初の方や初級者の方が参加されるノンプレビギナークラス、そして18歳以下のノンプレU-18クラスです。



2020年初めに新型コロナウイルスが確認されてから、今までの常識は通用しない状況へと変わっていきました。ウインドサーフィン界においても、各イベントや大会が中止されてきました。ウインドサーフィンは広いフィールドで、個人で行うスポーツである事から、感染のリスクは低く、趣味として楽しむ方は増えているように感じます。しかし、選手や10代のキッズ達は大会などのイベントが続々と中止となり目標もなく、練習へのモチベーションをキープすることが難しい状況でした。そのような中でも本大会は、地元自治体のご協力や地域住民のご理解のもと開催に至り、地元の子供達や選手達の目標となる大会となりました。大会初日は南南東の風が少々吹く予報でしたが、風向きがあまり良くなく、1日を通してノンプレニングコンディションでした。そのため、ノンプレクラスの試合を行って行きました。

U-18 ノンプレクラス

最年少は9歳、そして地元の若手が7名エントリーしていたU-18ノンプレクラス。皆、素晴らしいバランス力と、セイルコントロールの上手さから、とても風が弱い中でも素晴らしい演技を見せていました。その中でも勝敗の鍵を握っていたのは、失敗しない安定感と技のバリエーションでした。特に上位4名の選手は失敗が少なく3分間の演技の構成が良かったです。3位は丁寧にトリックを決め目立った失敗が少なかった遠藤選手、2位は抜群の安定感と様々なトリックをメイクしていた秋田選手、そして1位は安定感とバリエーションに加え、トリックのキレがありジャッジの目を引きつけていた山田美結選手となりました。



1位 山田美結選手



2位 秋田選手



3位 遠藤選手

フリースタイルにチャレンジ!! ノンプレビギナークラス

ノンプレビギナークラスはフリースタイルにチャレンジ中の選手がエントリーするクラス。今回は全員が18歳以下の選手でした。これだけ新しくフリースタイルを始める若い選手が増えているという事です。そして、飛び出すトリックはチャーチョスローといった難しいトリックまで披露されました。選手達の上達のスピードは、もはやビギナーというレベルではないようです。ノンプレビギナークラスは2ラウンド行い、総合成績でランキングがつきます。1ラウンド目で3位。2ラウンド目で2位の遠藤選手は丁寧にトリックをメイクし、トリックの質が高く3位、ラウンド1で1位、ラウンド2で3位の山田美依選手は連続してトリックをメイクするなど演技構成が優れていて2位。ラウンド1で2位、ラウンド2で1位の秋田選手は、トリックの成功率、難易度の高さ、連続性、と高評価を得るためのポイントを押さえたバランスの良い試合運びで優勝しました。



1位 秋田選手



2位 山田美依選手



3位 遠藤選手

ノンプレクラス出場者数最多、オープンクラス

今大会のノンプレフリースタイルクラスにおいて出場者が最も多かったのがノンプレオープンクラス。総勢13名の選手にエントリーしていただき、試合は盛り上がりを見せました。こちら2ラウンド行い、ラウンド1は上位4名の選手が18歳以下の選手となりましたが、ラウンド2ではベテランの選手も上位に入り、最後まで誰が勝つかわからない試合となりました。ウインドサーフィンの試合の常連となりつつある若狭選手は小さいボードながら素晴らしいバランスでトリックをメイクしラウンド1は2位、ラウンド2は5位タイで総合3位となりました。若さ溢れるエネルギッシュな試合運びでゲコなど難しいトリックもメイクしていた田口海渉選手がラウンド1は1位、ラウンド2が5位タイで総合2位となりました。そして、U-18クラスでも活躍を見せ、キレのある安定したトリックを披露した山田美結選手がラウンド1は3位、ラウンド2で2位となり、総合1位を獲得しました。



1位 山田美結選手



2位 田口海渉選手



3位 若狭選手

過去最多、そして新たな時代へと移ったノンプレススペシャルクラス

ノンプレフリースタイルのエキスパートが出場するノンプレススペシャルクラスは過去最多の10名の選手がエントリー。常連の選手に挑戦する若手選手が増え、ノンプレススペシャルクラスも盛り上がりを見せました。そんな中でも最近勢いをつけており、昨年のアマチュアチャンピオンで今期からプロ登録をした橋本選手が、豊富なバリエーションとミスが少ない安定した演技構成によって3位となりました。そしてノンプレイングススペシャルクラス王者杉選手と新たにその座を奪おうと闘志を燃やしている守屋選手の対戦。この2人の試合は見ていても不思議なくらい失敗せず、バリエーションは無量大で、考えつかないような動きをしています。今までは杉選手の演技は絶対に失敗せず、技のバリエーションから、圧倒的な強さを誇っていました。しかし、今回の守屋選手はさらにレベルを高めて王者へ挑戦です。杉選手は王者の冷静で安定した試合運びで次々とトリックをメイクしていきます。しかし守屋選手も負けてはいませんでした。守屋選手の堂々とした演技と豊富なバリエーションによって、会場を沸かせます。結果はどちらが勝ってもおかしくない状況でした。しかし、守屋選手のスタイリッシュで豊富なバリエーションの演技構成で王者杉選手に勝利しました。2位は杉選手で、優勝は守屋選手。新たな時代の幕開けです。



1位 守屋選手



2位 杉匠真選手



3位 橋本選手

風に恵まれ、素晴らしいパフォーマンスが披露された DAY2

当初の予報ではオフショア、そして大会が近づくにつれて予報はオンショアの強風で嵐になりそうな予報に変わり、不安な状況でした。しかし当日を迎えると、風は強いものの、波は思ったほどは大きくなく、なんとか試合が行うことができるコンディションでした。逗子の大会は本当によく吹きます。強い風によって、選手の派手なパフォーマンスが披露されました。

久々の開催となったウィメンズクラス

今大会久々にウィメンズクラスが行われました。ウィメンズクラスは女性の選手のためのクラスで、今回はベテランの互井選手とルーキー若狭選手が出場しました。風が強く吹き、波立っているコンディションの中、2人の選手は果敢に攻めたライディングを見せました。10代の若狭選手は難しいコンディションの中、波を使ってジャンプなどを果敢に演技を披露していました。ベテランの互井選手はコンディションを選ばずスポックやバルカンをメイクし、結果は2位が若狭選手、優勝が互井選手となりました。



1位 互井選手



2位 若狭選手

ジャンプだけではないオープン B クラス

このハードなコンディションではセーリングすることだけでも非常に難しい中、オープン B クラスの選手は果敢にジャンプトリックへと挑戦し、演技を披露していました。オープン B クラスではバルカンというトリックをメイクできるかどうかが目安となり、各選手はバルカンに挑戦する選手が多く、勝敗もその完成度で決まることが多いです。しかし、オープン B クラスではそれ以外のカービング系トリックも採点の対象となり、ヒート時間の中で様々な演技をすることが勝利への鍵となります。今回、荒れたコンディションの中スピードのあるバルカンなどの演技を見せていた上田選手は3位となりました。また、スライドがスタイリッシュでスポックへの勢いまであるバルカンを披露していた小西麻文選手が2位となりました。そして、今大会オープン B クラスの優勝を飾ったのは、ジャンプトリックを披露しつつ、ダックジャイブなどのカービングトリックも行い、演技構成のバランスが取れていた田口海渉選手でした。フリースタイルには強い風が必要ですが、強すぎても難しい競技です。しかし、このコンディションの中で素晴らしい演技を見せていたオープン B クラスの選手はとてもレベルが高いと言えるでしょう。



1位 田口海渉選手



2位 小西麻文選手



3位 上田選手

ベテラン勢と若手の戦い、オープンAクラス

オープン A クラスの選手のレベルも非常に上がっていて驚きました。シャカやファネルといったトリックが披露されたり、ハードなコンディションの中でバルカンなどのトリックをしっかりとメイクしたりと、難しいコンディションを物ともせず選手達は素晴らしいパフォーマンスをしていました。フリースタイルの大会の常連である岡本選手は得意のバルカンでこの荒れたコンディションを制し、3位となりました。技のバリエーションが豊富で、高難易度のシャカなどにもトライしていた吉田選手が2位となりました。そして優勝は、安定したバルカンのメイク率、そしてジャッジ前でのアピール度が高い演技をしていた杉僚真選手となりました。

若手選手の伸びはすごいです、ベテラン選手の経験値とトリックの丁寧さから今回披露されたパフォーマンスはとても素晴らしかったです。



1位 杉僚真選手



2位 吉田選手



3位 岡本選手

スペシャルクラス王者の強さ

プロへの登竜門であるスペシャルクラス。このクラスには超えなければいけない壁が立ち塞がっています。今大会3名のエキスパートがエントリーしており、スペシャルクラスのハイレベルな試合を見ることができました。そのクラスへと挑戦した森川選手は、果敢にスポック等のトリックに挑戦するも、コンディションに苦戦し、なかなかメイクできずにいました。そんな中挑戦者森川選手に立ち塞がったのは、大会常連の鶴巻選手。鶴巻選手はハードなコンディションの中でも経験値の高さとフリースタイル技術の高さから素晴らしいパフォーマンスを見せ、森川選手に勝利。そして、スペシャルクラス常連の梅川選手との対戦。梅川選手は強風コンディションを得意とし、トリックの完成度が非常に高く、しっかりとトリックをメイクして点数を稼いでいきます。梅川選手の安定したパフォーマンスで鶴巻選手に勝利。スペシャルクラスは2ラウンド行いましたが、結果は3位森川選手、2位鶴巻選手、1位梅川選手となりました。梅川選手はスペシャルクラスの壁として新たな挑戦者へと立ち塞がっています。次にこの壁を乗り越える選手は誰なのでしょう？



1位 梅川選手



2位 鶴巻選手



3位 森川選手

過去最もハイレベルでド派手なパフォーマンスが披露されたプロクラス

非常にレベルが高まっているプロ戦。プロ戦には申し分ない風がこの大会に吹きました。逗子海岸は日頃から海岸を散歩する人が多く、ギャラリーが多いので選手が自分のパフォーマンスをアピールする舞台としては最高の場所です。そのような場所で最高の風が吹き、今大会はウインドサーフィンの凄さを多くの方に知ってもらう意味でも価値のある大会となったのではないのでしょうか？

昨年、最終戦で杉プロと対戦し、2位となった私(小林)は、この試合でのリベンジを狙っていました。シングルイリミネーションでは、杉プロのファイナルで全てE難易度のトリックを揃えていましたが、杉プロはさらにその上のF難易度のトリックを演技に取り込み、シングルは1位杉プロ、そして2位小林という結果となりました。そしてダブルが始まり、昨年のアマチュアチャンピオンで今期からプロ登録をした橋本選手が勢いをつけ、津野プロを破り、守屋プロと対戦。しかし、守屋プロの高難易度トリックのバリエーションと完成度の高さから橋本プロは4位となりました。そして守屋プロと小林の対戦。風が少し上がり苦戦しながらも着々とE難易度のトリックを揃え、小林はF難易度のフラカシャカにトライ。しかしこれは決まらず、逆に守屋プロはF難易度のスコプをクリーンメイク。小林はF難易度のトリックは決まらなかったものの、他のトリックの点数は比較的高かったため、守屋プロとの点数は同点でした。しかし、同点の場合カウントされたトリックの中で、より高得点のトリックをメイクした選手の勝利というルールにより、F難易度のスコプをメイクした守屋プロの勝利となりました。そして小林は3位という結果となりました。次に守屋プロはシングルで1位の杉プロと対戦します。杉プロは高難易度のトリックを狙いすぎ失敗が目立ち、あまり点数が伸びていませんでした。対する守屋プロは安定感のある演技を見せ、着実に高難易度のトリックをメイクしていきました。結果は守屋プロの勝利。そしてグランドファイナルへ突入。グランドファイナルでは杉プロのパフォーマンスが炸裂していました。守屋プロも高難易度のトリックを着実にメイクしていましたが、杉プロの高さのあるスコプ、バーナーファネルと言った、F難易度やそれを超えるトリックがヒートでも飛び出すようになり、今大会プロクラスを制したのは杉プロとなりました。



1位 杉匠真プロ



2位 守屋拓海プロ



3位 小林

ノンプレ U-18 チャレンジクラス



- 1位 山田美結選手
- 2位 秋田選手
- 3位 遠藤選手

ノンプレビギナークラス



- 1位 秋田選手
- 2位 山田美依選手
- 3位 遠藤選手

ノンプレオープンクラス



- 1位 山田美結選手
- 2位 田口海渉選手
- 3位 若狭選手

ノンプレススペシャルクラス



- 1位 守屋選手
- 2位 杉匠真選手
- 3位 橋本陸汰選手

ウィメンズ



- 1位 互井選手
- 2位 若狭選手

オープンBクラス



- 1位 田口海渉選手
- 2位 小西麻文選手
- 3位 上田選手

オープン A クラス



- 1位 杉僚真選手
- 2位 吉田選手
- 3位 岡本選手

スペシャルクラス



- 1位 梅川選手
- 2位 鶴巻選手
- 3位 森川選手

プロクラス



- 1位 杉匠真プロ
- 2位 守屋プロ
- 3位 小林

主催

特定非営利活動法人日本ウインドサーフィン協会 (JWA)

御協賛各社

小坪商栄会／逗子五業組合／スマス／エナジークエスト／CHAMI／株式会社ウインドサーフィンジャパン／スターボードジャパン株式会社／株式会社 ON'S COMPANY／有限会社エオ／OSM スポーツ／ナッシュジャパン

協力

逗子市／FREESTYLE FESTA ZUSHI 実行委員会／kaya／マリンブルー／フェザーファクトリー／石渡マリクラブ／逗子ウインドサーフスクール／ココナッツボーイ／NPO 海岸クラブ／スイッチスタンス／ヘイズ／オーシャンズ／エバー／SUP 逗子

メディア

写真

大会の写真 12月19日 URL ↓

<https://photos.google.com/share/AF1QipN2sYggR50Y9Ukk8XpzTeYAjfObk1fq0WKO11c-cc8jgOFFeOk2BxxEnYHNEGp6eQ?key=a3h5MnAwWk5ZLWphb2VENeppNE9SamlvZIN0NmdB>

大会の写真 12月20日 URL ↓

https://photos.google.com/share/AF1QipOqToiff5a51xZZ0sTx1Jr9ngtw3BQX7LHvxChHqJmJpMTST1CbnxHUNo_Dn15jg?key=Nk9VaXZXOEFiVXdHdHdSVW94dmc4ZnloM3RJZm13

映像 JWA YouTube チャンネル URL ↓

Day1

<https://www.youtube.com/watch?v=aKbZmuebtiU>

Day2

<https://www.youtube.com/watch?v=ggYBbMVODhQ>

謝辞

昨年は新型コロナウイルス感染拡大により中止された本大会。今年もまだまだ油断を許さない状況が続いている中ではありましたが、海外に遠征にいけない選手のモチベーションを高めるためにも、冬の間練習を欠かさなかったキッズのためにも、本大会は感染対策等をしっかりと行い開催したいと思いました。それに伴い、本大会開催場所の逗子市の御協力のもと、近隣住人の方々からもご理解をいただき、逗子のマリショップのご協力のもと、なんとか開催に至りました。このような状況の中で大会の開催を承諾してくださった皆様に感謝しております。

また本大会にご協賛いただきました、企業各社様、フリースタイル委員会の活動にご理解とご協力いただき、本当にありがとうございます。皆様のご支援のおかげで大会を盛り上げることができました。さらには過酷なコンディションの中でもスムーズに試合を進めるため準備をしてくださった運営スタッフの皆様にも感謝いたします。そして今大会にエントリーしてくださった選手の方々、新型コロナウイルス感染拡大の影響で大会の開催の有無がはっきりせず不安に思う部分も多かったと思いますが、そのような状況下でもご参加くださりまして、本当にありがとうございます。

ウインドサーフィンの楽しさを伝えたい、ウインドサーフィンの凄さを知って欲しい、という気持ちからスタートしたフリースタイルフェスタ逗子。ギャラリーが多く、ウインドサーフィンのメッカでもある逗子海岸でウインドサーフィン際先端の動きを披露するため、この大会を行っております。少しでも多くウインドサーフィンの素晴らしさをこの大会を通して知ってもらえたら嬉しく思います。そして、選手のレベルが高まってきた今、この大会から世界で戦う選手が生まれていくことを目標に今後も続けていきたいと思っております。今後とも応援よろしくお願いいたします。

最後に、5月29日(土曜日)、30日(日曜日)に予定しておりました、JWA JAPAN PROTOUR 2021-2022 FREESTYLE 第2戦 TRICK'N TRY MOTOSUKO 2021 新型コロナウイルス感染拡大の傾向にあること、政府より各地域に”まん延防止等重点措置”が実施されていることなどから、地元住民の方々への配慮、県外への移動をなるべく避け、感染拡大のリスクを低くするという理由の元、大会中止の決定をさせていただきます。本大会を楽しみにされてきた方々には申し訳ございませんが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

皆様もお身体をご自愛いただきながら、ウインドサーフィンを楽しんでください。

来年こそは開催し、皆様と盛り上げて行きたいと思っておりますので、その時は是非ご参加ください。

よろしくお願いいたします。



JWA フリースタイル委員会
委員長 小林悠馬